

協議 3

第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会繰入金の取扱いについて

(アンケートまとめ)

アンケート回収率 100% 28件/28市町(会長市除く)

設問1

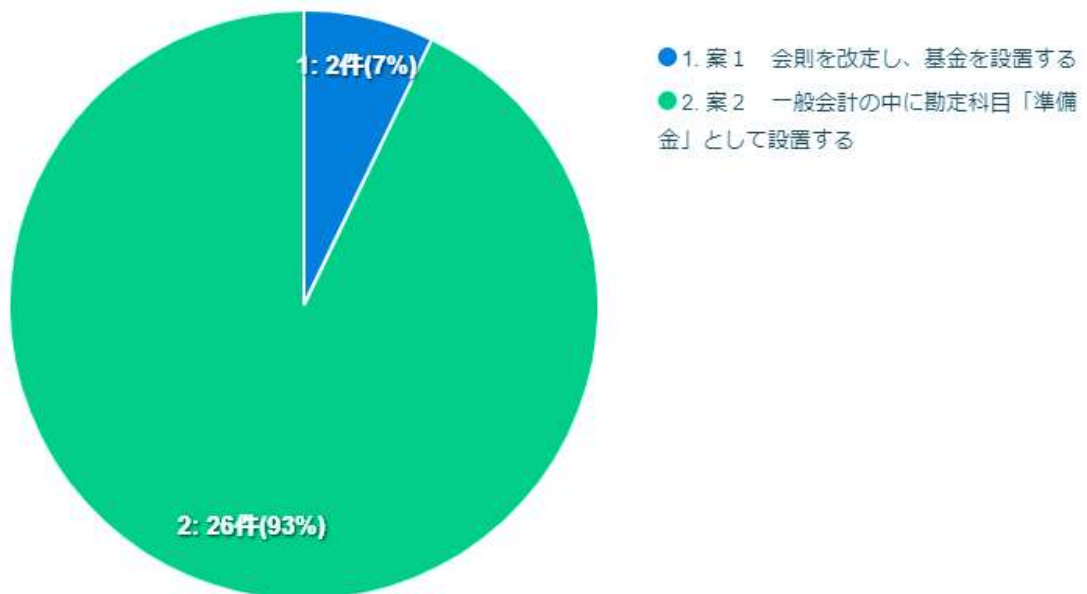
東京大会繰入金の扱いについて、次の2つの案のうちどちらに賛成かお選びください

【案1】 会則を改定し、基金を設置する

- メリット 基金として毎年定期預金口座を作成することにより、一般会計と区別して残すことができる等
- デメリット 毎年口座開設の必要があることで事務・監査の手間が増える等

【案2】 一般会計の中に勘定科目「準備金」として設置する

- メリット 毎年予算の中で科目「準備金」を設置、実際の繰り出しがあるわけではないが書面上残すことができ、事務量も軽減される等
- デメリット 書面上だけの運用の仕方です果たしてよいかということ



設問2

Q1について、回答の理由をお聞かせください

【案1がよい】 回答：2市

| NO. | 理由 | 数 |
|-----|---|----|
| 1 | 案2のデメリットにある会計上の疑念が残るため。この点についてしっかりと理由付けが得られれば、事務軽減のため案2でも良い | 1市 |
| 2 | 基金として毎年定期預金口座を作成することにより、一般会計と区別して残すことができる | 1市 |

【案2がよい】 回答：26市

| NO. | 理由 | 数 |
|-----|---|-----|
| 1 | 事務手続きが煩雑。事務量が軽減される | 14市 |
| 2 | 基金を設置したときの事務手続きの手間を考えると、準備金の科目を設置し、申し合わせ事項で内容を示しておけばよい | 5市 |
| 3 | 勘定科目の追加承認は、会議にて諮る必要がある | 2市 |
| 4 | 会則改正はできるだけ避けた方がよい | 1市 |
| 5 | 関東甲信越静社会教育研究大会がこれまでのように開催されるか、また、開催形態が変わると経費も大幅に変わる可能性があり、積み立てが無駄になることもありうる | 1市 |

案 2 : 勘定科目の設置

繰入金の取り扱いに関する申し合わせ事項（案）

- 1 令和 4 年度予算書で計上した繰入金は、令和 3 年度開催した第 52 回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会の協賛金の獲得及び支出の削減により生じた差引残高で、次回の関東甲信越静社会教育研究大会東京大会の準備金として確保するための取り扱いについて定めるものである。
- 2 予算書において、支出科目として「準備金」とし、備考欄に「関東甲信越静社会教育研究大会東京大会」と明記する。
- 3 準備金は関東甲信越静社会教育研究大会東京大会の運営に要する経費に充てる場合に限りに、執行することができる。この内容を予算書に注記として記載する。
- 4 準備金として計上する額は、令和 4 年度一般会計予算の繰入金のうち、平成 30 年度から令和 3 年度までの一般会計から特別会計への繰出金 400,000 円を差引いた残額とする。
- 5 この申し合わせ事項に定めのない事項が生じた場合は、理事会において協議をして定めるものとする。

(附則)

- 1 令和 5 年 4 月 1 日から適用する。

支 出 (協議3のための参考資料)

(単位：円)

| 区分 科目 | 令和5年度 当初予算額 (a) | (参 考) | | | 備 考 |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|----------------|----------------|---|
| | | 令和4年度 予 算 額 (b) | 増△減 (a - b) | 令和4年度 決 算 額 | |
| 定期総会費 | 80,750 | 80,750 | 0 | 3,137 | 会場使用料 0 議事録作成 57,750 消耗品等 23,000 |
| 理 事 会 役 員 会 費 | 199,750 | 158,500 | 41,250 | 67,485 | 議事録作成 189,750 消耗品等 10,000 |
| 交流大会費 | 68,750 | 68,750 | 0 | 0 | 会場使用料 0 議事録作成 57,750 消耗品等 11,000 |
| ブ ロ ッ ク 活 動 費 | 0 | 270,000 | △270,000 | 181,889 | 特別会計へ繰り出し |
| 活動記録等 作 成 費 | 145,000 | 38,000 | 107,000 | 37,356 | 印刷製本代 145,000 |
| 分 担 金 | 101,000 | 101,000 | 0 | 100,440 | (一社)社教連分担金 及び振込手数料 |
| 総 務 費 | 65,000 | 67,000 | △2,000 | 36,854 | 役員行動助成金 10,000 通信運搬費 35,000 消耗品等 20,000 |
| 調 査 研 究 ・ 研 修 費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 0 | 講師謝礼 交流会 70,000 令和3年度定期総会 30,000 |
| 準 備 金 (注) | 405,279 | 0 | 0 | 0 | 関東甲信越静社会教育 研究大会東京大会 |
| 予 備 費 | 332,656 | 254,706 | 77,950 | 0 | |
| 合 計 | 1,462,906 | 1,238,706 | 224,200 | 527,161 | |

(注) 関東甲信越静社会教育研究大会東京大会の運営に要する経費に充てる場合に限り執行できる